

平成19年石油化学製品需要見通しについて

平成18年12月26日
経済産業省

I. 石油化学製品（除く芳香族）

1. 今回の見通しのポイント

- ① 平成18年については、中国を中心とするアジア地域の景気拡大や国内での民間需要を中心とした景気回復傾向の継続を背景に、エチレン換算内需は前年を上回り、プロピレン換算内需はほぼ昨年並みを維持する見込み。
 また、アジア地域の旺盛な需要増を反映し、輸出はエチレン換算、プロピレン換算とも増加する見込みであるが、エチレン系については、中東及びアジア各国からの輸入も増加するため輸出入バランスは昨年並みの水準となり、プロピレン系については、輸入も減少するため輸出超過量が拡大する見込み。
- ② 平成19年については、原油価格の高騰などの不安定要素があるものの、国内での石油化学製品の需要は引き続き底堅く、エチレン換算内需及びプロピレン換算内需は、前年を上回る見通し。
 また、堅調な国内需要による輸出余力の減少により、エチレン系、プロピレン系とも輸出超過量は前年に比べ縮小する見通し。

2. エチレン需要

① レジン輸入ベース

（単位：万トン、％）

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	586 (+1.2%)	171.6 [170.6]	758 (+1.1%)	751 (-1.4%)
平成19年 見通し (前年同期比)	587 (+0.1%)	167.5 [171.6]	754 (-0.5%)	/

② 製品輸入ベース（内需及び輸入にポリエチレンの製品輸入を含む）

（単位：万トン、％）

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	649 (+1.8%)	109.2 [112.3]	758 (+1.1%)	751 (-1.4%)
平成19年 見通し (前年同期比)	653 (+0.7%)	101.2 [109.2]	754 (-0.5%)	/

（注1）エチレン換算ベース

（注2）輸出入バランスは「輸出－輸入」で、通関統計の実績を基に推計

（注3）輸出入バランスの[]内は前年同期の実績値

3. ポリエチレン需要

(1) 低密度ポリエチレン

① レジン輸入ベース

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	192 (+1.4%)	11.0 [10.6]	203 (+1.5%)	203 (-2.5%)
平成19年 見通し (前年同期比)	193 (+0.5%)	9.4 [11.0]	202 (-0.3%)	

② 製品輸入ベース (内需及び輸入にポリエチレンの製品輸入を含む)

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	223 (+2.3%)	▲19.6 [▲17.7]	203 (+1.5%)	203 (-2.5%)
平成19年 見通し (前年同期比)	226 (+1.4%)	▲23.4 [▲19.6]	202 (-0.3%)	

(注1) 低密度ポリエチレンにはEVAを含む

(2) 高密度ポリエチレン

① レジン輸入ベース

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	95 (-1.3%)	14.3 [12.6]	109 (+0.4%)	106 (-5.7%)
平成19年 見通し (前年同期比)	93 (-2.0%)	12.7 [14.3]	106 (-3.1%)	

② 製品輸入ベース (内需及び輸入にポリエチレンの製品輸入を含む)

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	128 (+0.4%)	▲18.8 [▲18.6]	109 (+0.4%)	106 (-5.7%)
平成19年 見通し (前年同期比)	128 (-0.1%)	▲22.1 [▲18.8]	106 (-3.1%)	

4. プロピレン需要

① レジン輸入ベース

(単位：万トン、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 ± 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	496 (-0.5%)	115.1 [103.2]	611 (+1.6%)	601 (-0.3%)
平成19年 見通し (前年同期比)	513 (+3.4%)	99.5 [115.1]	612 (+0.2%)	

② 製品輸入ベース (内需及び輸入にポリプロピレンの製品輸入を含む)

(単位：万トン、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 ± 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	513 (-0.3%)	97.4 [86.0]	611 (+1.6%)	601 (-0.3%)
平成19年 見通し (前年同期比)	531 (+3.4%)	81.3 [97.4]	612 (+0.2%)	

(注1) プロピレン換算ベース

(注2) 輸出入バランスは「輸出－輸入」で、通関統計の実績を基に推計

(注3) 輸出入バランスの[]内は前年同期の実績値

5. ポリプロピレン需要

① レジン輸入ベース

(単位：万トン、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 ± 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	274 (+1.2%)	37.1 [34.3]	311 (+2.0%)	303 (-1.0%)
平成19年 見通し (前年同期比)	281 (+2.5%)	31.9 [37.1]	313 (+0.6%)	

② 製品輸入ベース (内需及び輸入にポリプロピレンの製品輸入を含む)

(単位：万トン、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 ± 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	291 (+1.3%)	19.9 [17.6]	311 (+2.0%)	303 (-1.0%)
平成19年 見通し (前年同期比)	298 (+2.6%)	14.2 [19.9]	313 (+0.6%)	

(注1) ポリプロピレンにはフィラー等を含む

(注2) 輸出入バランスは「輸出－輸入」で、通関統計の実績を基に経済産業省で推計

(注3) 輸出入バランスの[]内は前年同期の実績値

II. 芳香族

1. 今回の見通しのポイント

- ① 平成18年の芳香族製品の内需については、ベンゼンは定修の影響でスチレンモノマー及びシクロヘキサン向けの減少が見込まれることから、-1.0%の減少となる見込み。トルエンはフェノール生産設備の休止により、-9.9%の減少となる見込み。キシレンはガソリン用及び溶剤用の減少により、-0.8%の減少となる見込み。
- ② 平成19年の内需については、ベンゼンはシクロヘキサン及びフェノールの内需減が見込まれるものの輸出増により、+0.4%の増加となる見通し。トルエンは不均化設備向けの増加により、+2.8%の増加となる見通し。キシレンはアジアでのPTAプラントの新增設によるパラキシレンの需要の増加が見込まれることから、+1.5%の増加となる見通し。

2. 芳香族需要

①ベンゼン

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	481 (▲1.0%)	▲2.8 [11.6]	478 (▲3.9%)	476 (▲4.0%)
平成19年 見通し (前年同期比)	483 (+0.4%)	12.0 [▲2.8]	495 (+3.5%)	

②トルエン

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	142 (▲9.9%)	20.2 [9.1]	162 (▲2.7%)	167 (▲3.5%)
平成19年 見通し (前年同期比)	146 (+2.8%)	21.1 [20.2]	167 (+3.1%)	

③キシレン

(単位：万ト、%)

	内 需	輸 出 入 バ ラ ンス	必 要 量	必 要 量 在 庫 増 減 等
平成18年 実績見込み (前年同期比)	510 (▲0.8%)	56.6 [42.1]	567 (+1.8%)	568 (+2.1%)
平成19年 見通し (前年同期比)	518 (+1.5%)	59.0 [56.6]	577 (+1.7%)	

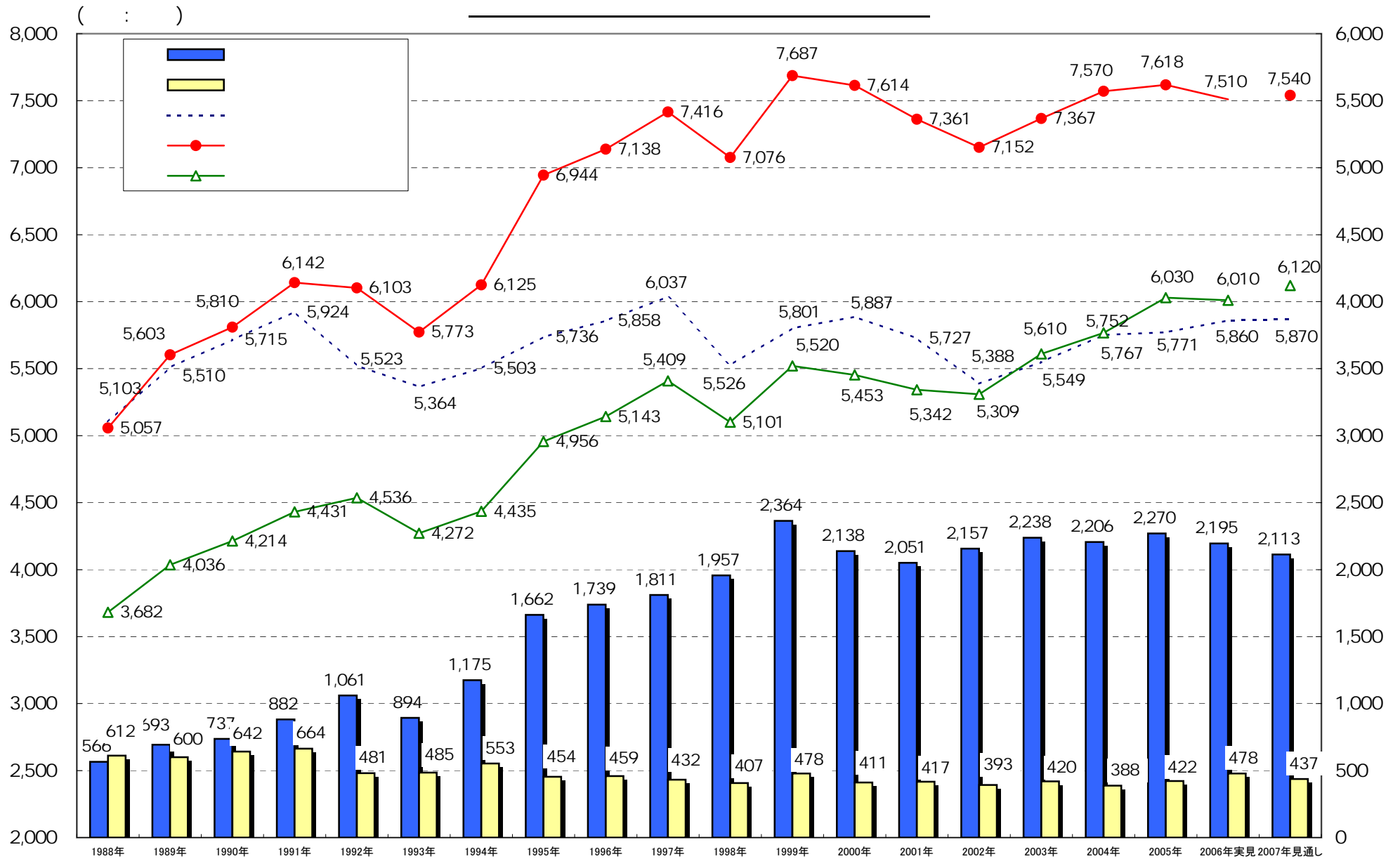
(注1) 輸出入バランスは「輸出-輸入」で、通関統計の実績を基に経済産業省で推計

(注2) 輸出入バランスの[]内は前年同期の実績値

		(A)		(C)		(A) (B) (C)		[]
			(B)					
		192 (+1.4%)	19.7 (- 4.4%)	30.7 (- 1.7%)	+11.0	203 (+1.5%)	195	195 (- 2.5%)
		223 (+2.3%)	50.3 (+2.9%)		19.6			
		95 (- 1.3%)	1.7 (- 41.0%)	16.0 (+3.1%)	+14.3	109 (+0.4%)	113	110 (- 5.7%)
		128 (+0.4%)	34.8 (+1.9%)		18.8			
		90 (+6.9%)	2.0 (+28.8%)	12.6 (- 29.2%)	+10.6	101 (+0.2%)	91	88 (- 2.7%)
		186 (+1.2%)	6.0 (+19.6%)	147.7 (- 7.4%)	+141.7	328 (- 3.1%)	95	95 (- 3.9%)
		34 (- 8.1%)	0.0 (-)	0.0 (-)	0.0	34 (- 8.1%)	22	22 (- 7.3%)
		71 (- 3.2%)	10.1 (+108.9%)	83.5 (+23.4%)	+73.4	144 (+6.0%)	144	144 (+5.7%)
		76 (+6.1%)	14.5 (+29.1%)	36.1 (+1.5%)	+21.6	98 (+1.7%)	98	97 (+1.2%)
		586 (+1.2%)	47.8 (+17.6%)	219.5 (+3.9%)	+171.6	758 (+1.1%)		751 (- 1.4%)
		649 (+1.8%)	110.2 (+11.3%)		+109.2			
		193 (- 1.3%)	1.3 (+0.8%)	135.4 (- 6.7%)	+134.2	327 (- 3.0%)		

		(A)		(C)		(A) (B) (C)		[]
			(B)					
		274 (+1.2%)	10.3 (- 17.5%)	47.4 (+1.5%)	+37.1	311 (+2.0%)	320	312 (- 1.0%)
		291 (+1.3%)	27.4 (- 5.8%)		+19.9			
		60 (- 1.1%)	3.7 (- 16.2%)	11.8 (- 30.9%)	+8.1	68 (- 7.1%)	74	73 (- 9.3%)
		149 (- 3.2%)	12.3 (- 4.2%)	80.3 (+20.1%)	+68.0	217 (+4.4%)	217	216 (+4.2%)
		496 (- 0.5%)	26.9 (- 11.7%)	142.0 (+6.3%)	+115.1	611 (+1.6%)		601 (- 0.3%)
		513 (- 0.3%)	44.6 (- 6.4%)		+97.4			

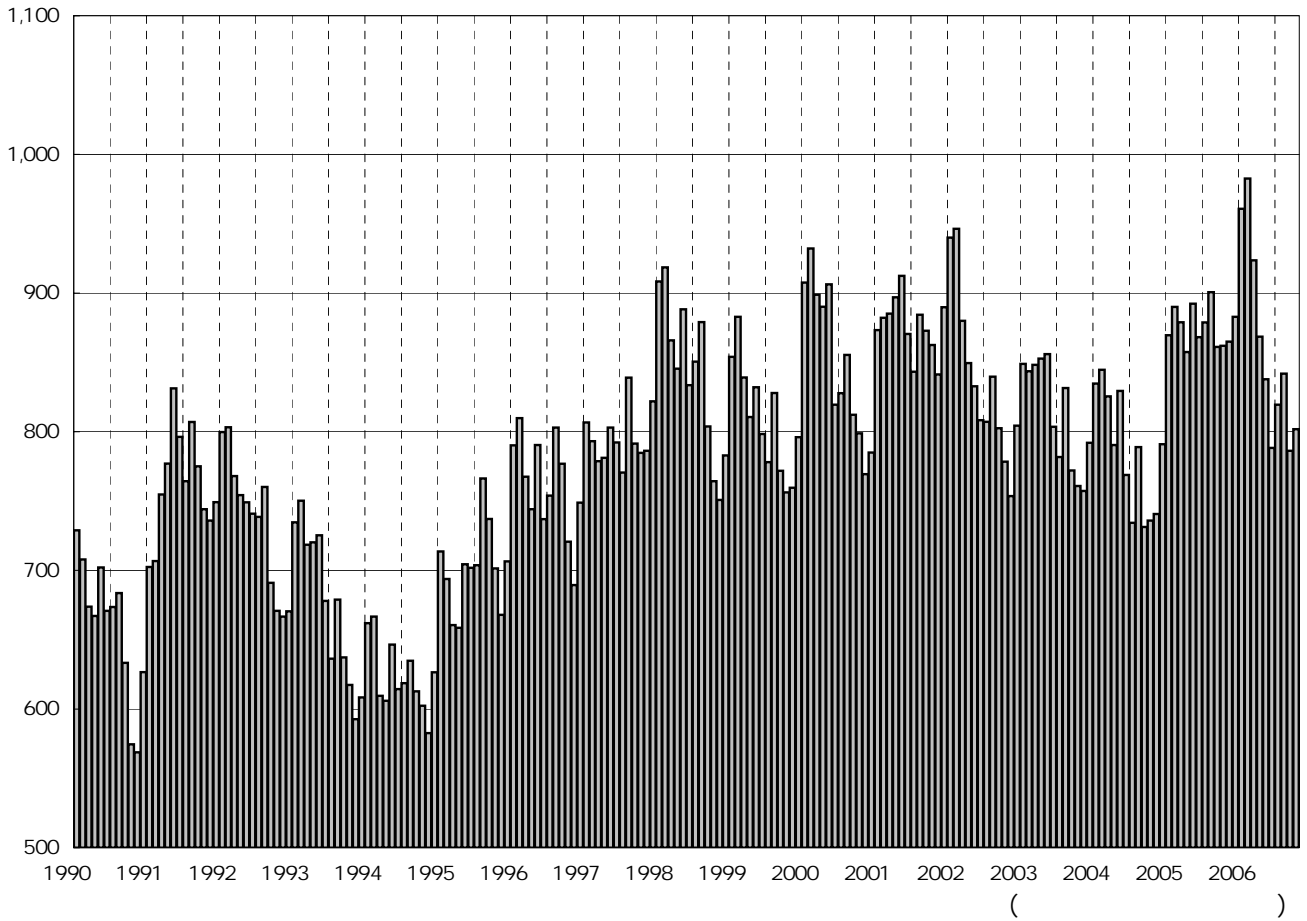
- 1.
2. (SM)
- 3.
- 4.
- 5.



注 生産 経済産業省 化学工業統計、輸出入 財務省通関統計(レジデータベース) 2005年以降は化学課調べ

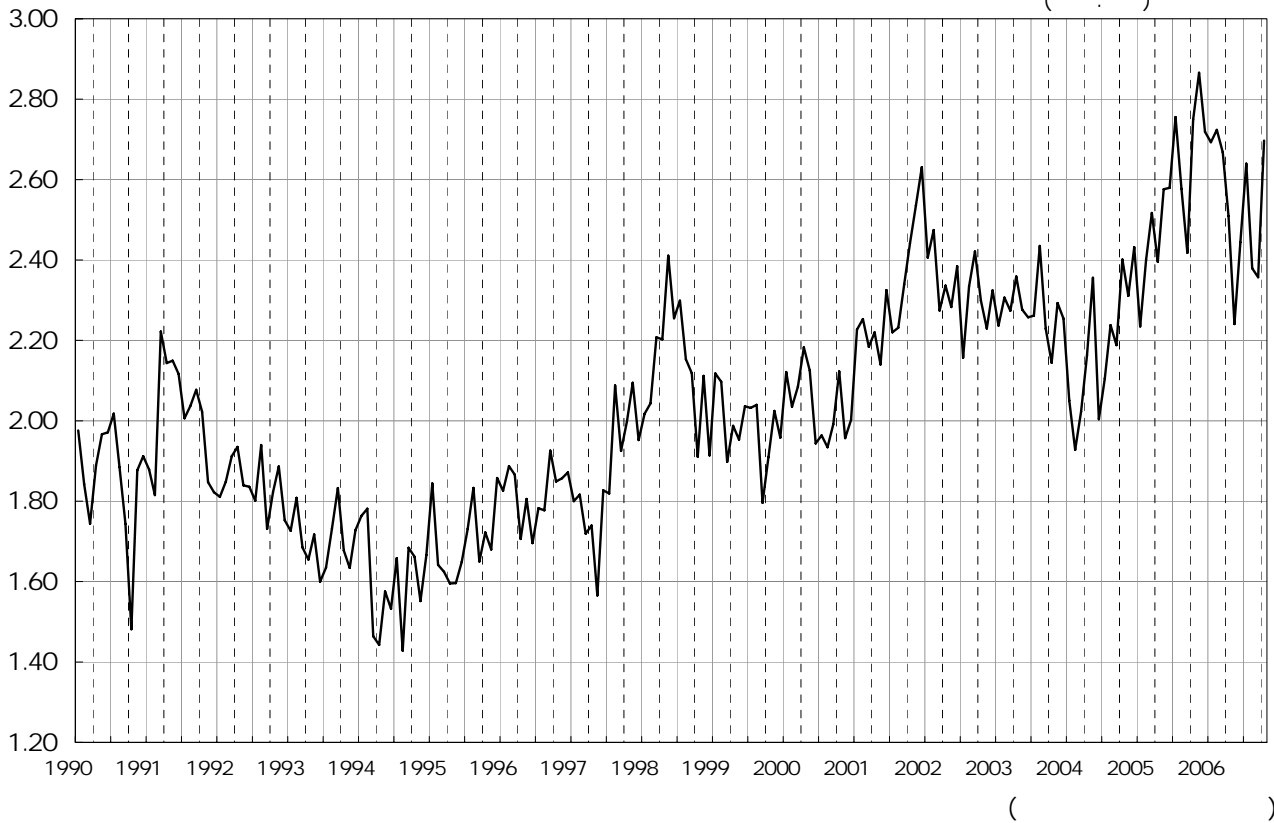
エチレン換算在庫率推移

(:)



LDPE

(:)



HDPE

(:)



()

PP

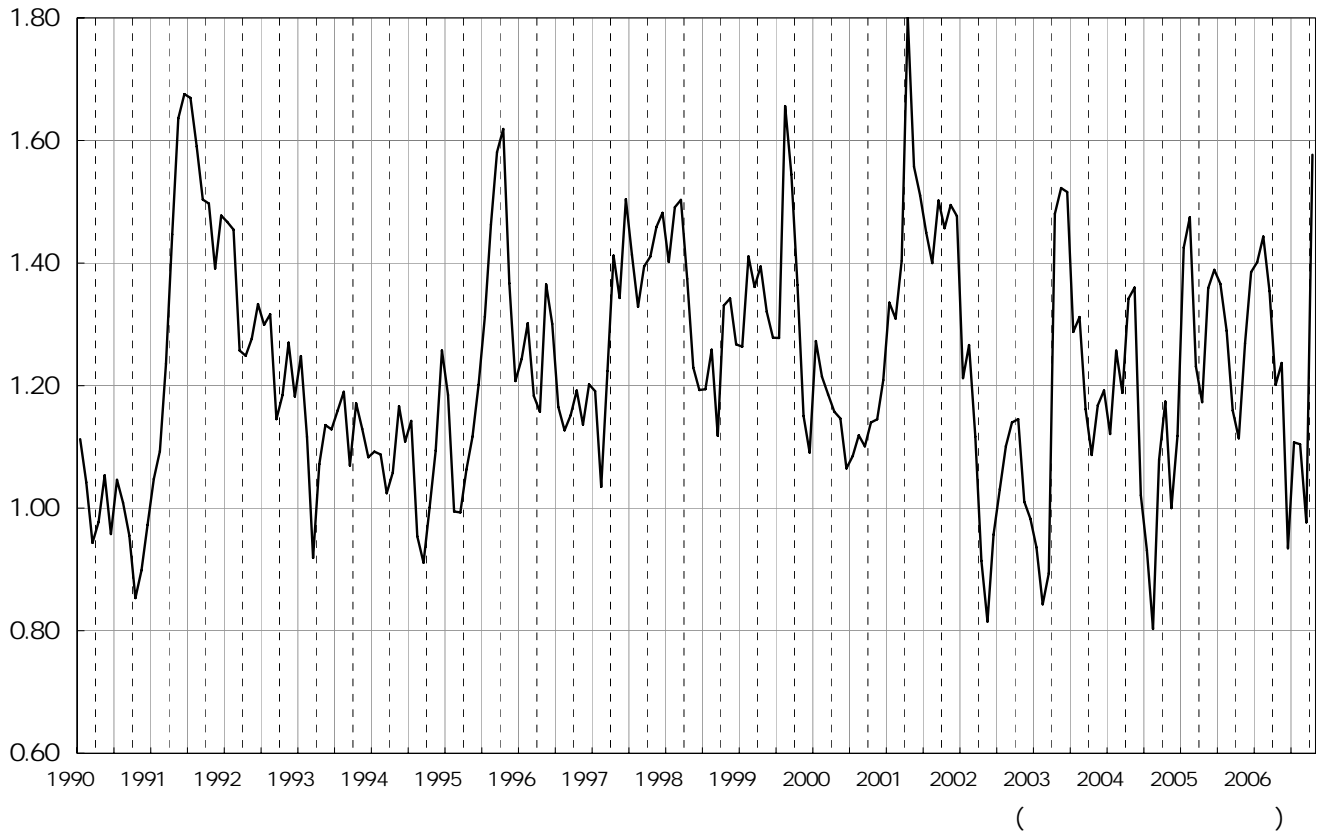
(:)



()

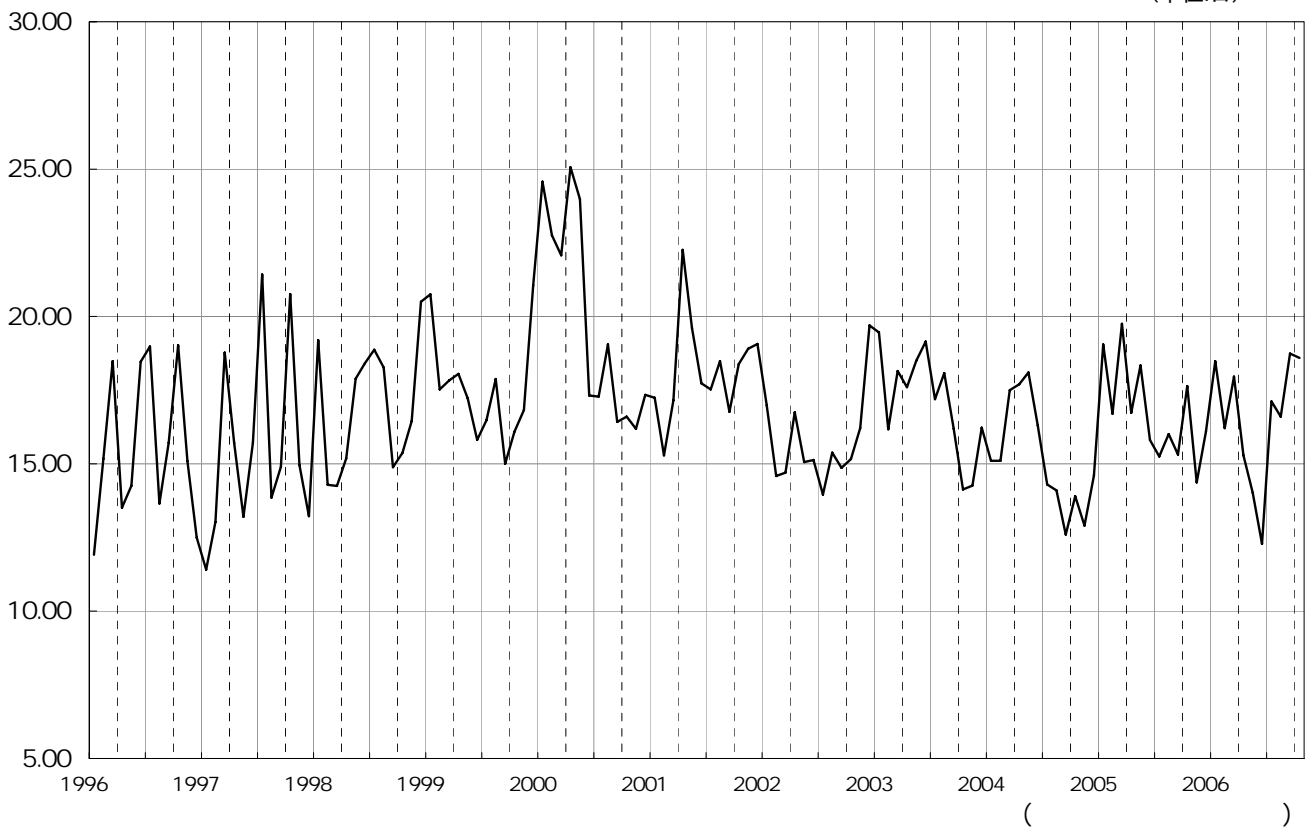
PS

(単位:ヶ月)

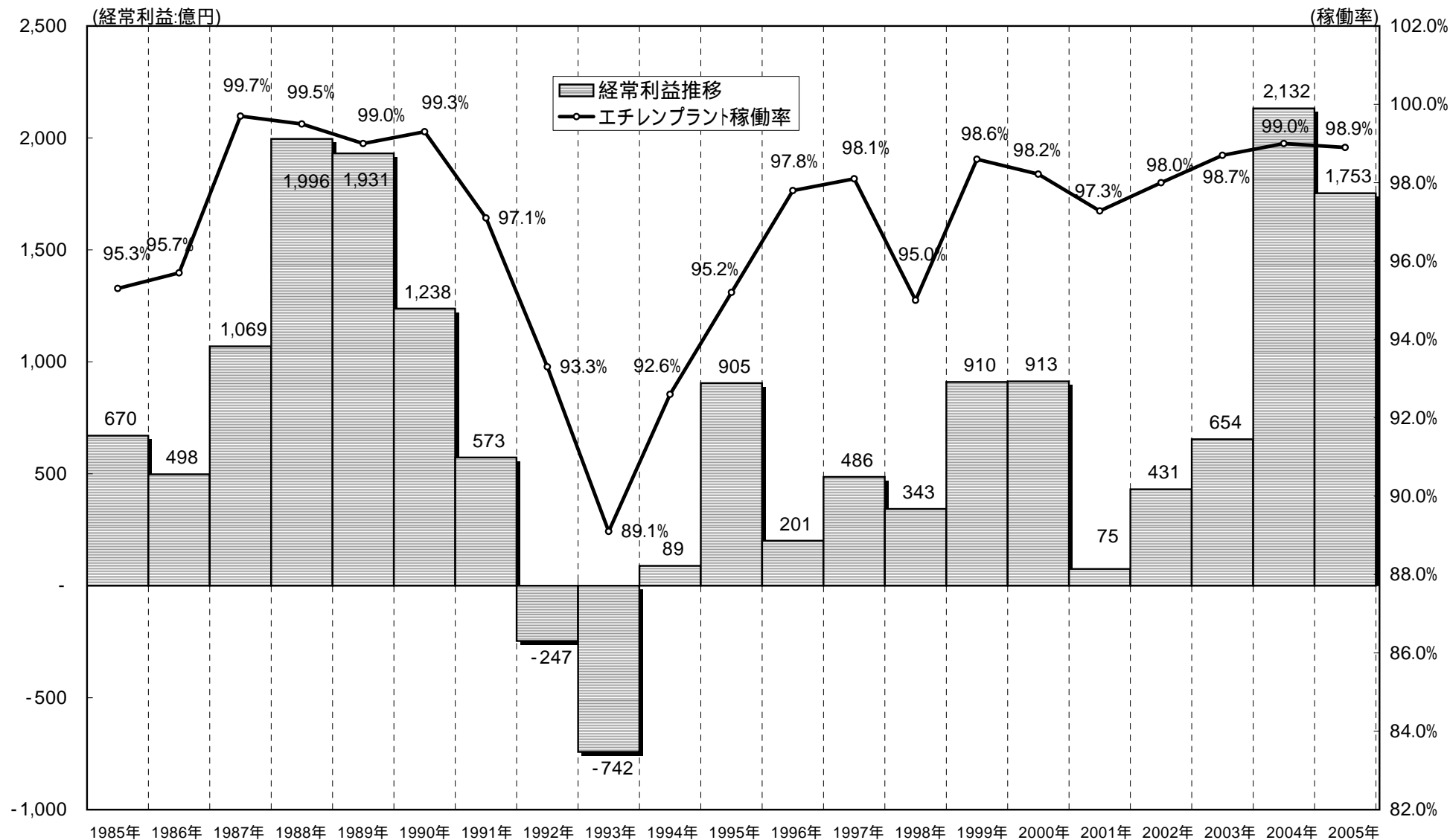


PVC

(単位:日)



エチレンプラント稼働率・経常利益推移



注)1.稼働率は定修損失控除済み実能力ベース
 2.経常利益は11エチレンセンターの石化部門値(会計年度ベース)

(化学課調べ)